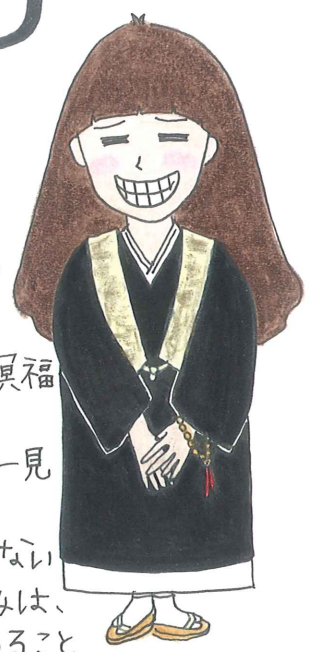




歓喜

こんにちは。釋紗音です。
あけましておめでとうございます。
今年も宜しくお願い致します。
2018年も色々なことがありました。
さくらもこさんが亡くなった時、あるミュージアムで
追悼の文章があったのですが...。
「さくらもこさんが永眠されました」から始まり、「ご冥福
をお祈りします」で締めくくられていました。
日頃からニュースやメディアで聞き慣れた言葉は、一見
何の違和感もなく目や耳に入ってきます。
しかし、意味を良く知らずに発言している人は少なくない
と思います。残された方のそういった発言や思い込みは、
亡くなった方の死後を好き勝手に変えてしまっていること
になります。亡くなった方の行き場所を人間が決めるのは、おかしいこと
です。分かるはずありません。
そもそも、何故「安らかに眠る」「永眠」などの言葉が出てきてしまったのでしょうか。
昔、ピラミッドや古墳に生け贄やはにわを捧げていたのは、死者が眠りから覚め



住職 正月の一筆



て、祟りや呪いを起こさない為であった様に、死者は恐ろしい存在だと信じられていたので、安らかに眠っていてほしかったのでしょう。海外ではゾンビ、日本では火葬されているので、幽霊が代表的ですね。
「冥福を祈る」の直訳は、「冥土での幸福を祈る」です。「冥」には「暗い」という意味があり、死んだ後どうなるのか
分からない恐怖から、死後の世界を「冥土」と呼ぶようになったそうです。
しかし、浄土真宗は言うまでもなく冥福を祈ることはありません。
お悔やみを言わないといけない時は、亡くなった方にどんな言葉が適しているのか、良く考えることが大切だと思います。
亡くなった日を「永眠した日」で終わらせてしまうのは悲しいだけですが、「仏様になった日」と受け取っていくのが
浄土真宗です。
1月16日は、宗祖親鸞聖人の命日で、本山では1月9日から16日まで「御正忌報恩講法要」が営まれます。
浄土真宗が最も大切にしている法要です。
阿彌陀様の本願のお心を明らかにしてくださった親鸞聖人を偲ぶと共に、報恩感謝の毎日を送らせていただきたいと思います。

秋・季永代経法座
平成30年10月20日



参詣者全員で「仏説阿彌陀經」のお勤めをした後、
住職の仏さまのお話を聴聞していただきました。
お彼岸の意味やお浄土について、阿彌陀様とはどんな仏様なのか...など。
お釈迦様のお経や親鸞聖人のご消息の味わいを深める内容になりました。

おススメ



あけましておめでとうございます。
食べるの大好き、釋里蓮です。
今年も1人1人のように美味しい旬のものを
食べ歩いて、紹介していきます。



ランチもお安く食べれたら、美味しいケーキをいただく余裕ができますよね(´▽`)♡私の別腹を満たしてくれたのは、創業1980年「エスプリ珈琲店」さんです。魅力は、自家焙煎、ネルドリップ(布製フィルター)抽出であること。珈琲の種類が多いので好みを伝えればおススメを教えてください(´▽`)♡焼きチーズケーキのおススメの食べ方は、真ん中あたりを大きめにカットし、一気に口へ(´▽`)口の中で「フワッ・ホロッ・ピヤッ」と不思議な食感が楽しめますよ。ランチ:11:00~15:00 駐車場あり

① 岡山市北区学南町2-5-14 1F 086-253-1771

住職の法話「歓喜(かんぎ)」
蓮如上人の白骨の御文章に「朝(あした)には紅顔(こうがん)ありて、夕(ゆうべ)には白骨(はくこつ)となれる身なり、...」とありますが、皆様はご自分のこととしてこの御文をお聞きになられているか。
数年前のことですが、声がかれるので近くの病院で検査してもらったところ、喉にポリープが
出来ていると言われ、大きな病院で再検査をすることになりました。悪性なら喉頭癌
です。お陰様で良性だったので終診となりましたが、喉頭癌に関する情報やニュースばかり
が耳に入り、癌ではないのか、声を失ったらどうやってお参りさせていたのか、厳しい癌治療
のことや、死を想像してしまい、検査結果が出るまで不安な毎日でした。
いつか命の終わる日が来ることは解ってはいますが、まだ死にたくはありません。
ご門徒の方に「いのちのほかなさ」を伝えている立場の僧侶ですが、実感して人間の
苦悩と弱さを知ったような気がしました。
私たちは人生の問いとして「いったい何のために生きているのか」「死んだらどうなるのか」
を否(いな)べ応(こた)でも「考えざるを得ない場面」に出会います。
自分自身が病気になった時、家族が病気や亡くなった時、その問いに対する答えを求めますが、
人間の知識や経験、理論や理屈の中にそれを求めても答えは見つかりません。
私たちは死ぬいのちを生きているのではなく、仏になるいのちを生きています。
しかし、私たちは仏になる種など持ち合わせていません。
浄土真宗のみ教えは阿彌陀様が南無阿彌陀仏の仏となりて私のところ
へ出向いてくれ、不安の中でたどろく私に寄り添い、いのち、終えたら
浄土に生まれ仏になる教えです。
人生の闇は阿彌陀様の光明で光り輝く人生へと車(くるま)じられるのです。
今年も仏法をよりどころとして、お念仏申す歓喜の日々を過ごさせて
いただきます。



おしえて住職 Q&Aコーナー

Q... お仏壇のお鈴(りん)はいつ鳴らすのですか?
A... お鈴はお経本に記されている決められた場所で鳴らすのが理想的です。お仏壇の前に座った時や合掌、礼拝の時に鳴らす必要はありません。仏様を呼んだり、知らせたりする為ではなく、お経が始まる時に鳴らします。前回お経はお釈迦様のお説法だと書かせていただきましたが、当時はお釈迦様のお説法が始まる合図に鐘を打っていたそうです。お鈴が鳴ると集合ですね。

お知らせ

今年もご縁をいただきました!! 釋里蓮です!! お会いできるのを楽しみにしています!!

大仏と書いて「おこば」と読む馬車... 今年もご縁をいただきました!! 釋里蓮です!! お会いできるのを楽しみにしています!!

大仏馬車で1日数本しかなく「いさぶろう号」にも会えました。

おこば OKOBA

大仏と書いて「おこば」と読む馬車... 今年もご縁をいただきました!! 釋里蓮です!! お会いできるのを楽しみにしています!!

大仏馬車で1日数本しかなく「いさぶろう号」にも会えました。

報恩講 法座

●日時 ●平成31年1月13日(日) 午後1時より

●場所 ●法親寺 本堂

●講師 ●浄土真宗本願寺派 布教使 千田匡真 師

※お車は隣駐駐車場、臨時駐車場、玉野高校駐車場をご利用ください。